まわれ！スタンプラリー
熱いぜ！スタンプラリー
よってらっしゃい
よってらっしゃい

のたろんフェア2016

2月13日㊏ 14日㊐

横須賀市立市民活動サポートセンター
（京急汐入駅から徒歩１分。横須賀 芸術劇場１階）

のたろんフェアとは、『市民活動』を
みんなに知ってもらうためのイベントです。
福祉、環境、国際交流や子育て支援など、
さまざまな分野で活躍している市民公益活動団体が
一同に集まる、年に一度のお祭りなのです！

横須賀市立
市民活動
サポートセンター
2016年
1月1日発行

すかっこの 市民活動情報

のたろん 新春号

市民活動がよくわかる

のたろんフェア2016

横須賀市内、近郊で活躍する市民公益活動団体

83 団体 による みんなの 2 日間

2 月 13 日㊏ 14 日㊐

午前 10 時から午後 4 時まで

フリーマーケット

活動資金を集めるために、
みんなでお店をひらいています。
掘り出し物があるかも！

館外では、うどん、豚汁、ラーメン、
おしるこなど、飲食販売もあります。

東北復興支援物品販売　館外飲食ブース

東日本大震災復興支援につながる物販販売です。
昨年、「とってもおいしい！！」と好評だった
「たみこの海パック」の販売もあります。

スタンプラリー

販売や体験展示の各ブースにはクイズが出題されています。問題はその団体の活動に関すること。正解するとシールがもらえます。シール台紙パーフェクトで賞品ゲット！

パネル展示や体験展示

福祉・まちづくり・自然と環境・
子育て支援などなどなど・・・
市民活動っていろいろあります。
どんな活動をしているの？
実際に聞いてみよう！

体験してみよう 聴いてみよう！

会場内の小さいステージでは、団体の活動ミニ体験ができたり、スライドや動画を使った活動の発表もおこなわれます。市長と話す車座会議も開催します。

**土曜日は
ショッパーズプラザでも
のたろんフェアをやってます！**

被災地からの報告　ミニ体験コーナー

2 月 14 日（日）10:30 から 11:00 まで

**被災地の未来が明るくあるために
～医師として感じること～**

酒井太郎さん
（さかい内科・胃腸科クリニック院長）

東日本大震災では、医療支援許可が出た直後に宮城県南三陸町に赴き、災害医療の現場を経験。人に対する温かさと機敏な実行力とを兼ね備え、コミュニティを活性へと導くキーパーソンとしてもご活躍中。

協力：南三陸支援チーム「ありがとう」

のたろんステージ

2 月 13 日（土） 10:10 から 16:00 まで

ショッパーズプラザ横須賀 2 階
センターステージ

手話ダンス
ゴスペル
カラオケ講座
フラ、カントリーダンス

ひと ～市民活動を支える人たち～

どんぐりの会　井出 聖子さん

やさしい笑顔が印象的な、どんぐりの会の井出聖子さんにお話を伺った。

昭和１４年、長野県北佐久郡立科町の庄屋の家に長女として生まれる。小学校の頃は「庄屋の聖子ちゃん」と大人達にかわいがられていたので、同級生にはいじめられたという。中学時代は神社のお祭りに、いとこ達を招いてもてなしたりした。高校卒業後、先生の勧めもあり大学に行きたかったが、父の希望で地元の短大に進学した。「今の自分があるのは、子どもの頃ののんびりしたことが土台になっているかも知れない」という。結婚後は、東京、名古屋、大阪と転勤族の生活となった。

男の子と２人の女の子に恵まれ、ＰＴＡの役員などをしているうち、人から相談をされることが多くなっていた。「専門的に勉強をして、相談を受けたい」と思い、関西カウンセリングセンターの門を叩く。センターでは、河合隼雄教授（京都大）田中國夫教授（関西学院大）の講義を受けた。そして、同センターで資格を取り、難波の相談室でカウンセラーをするようになった。「良くしてあげよう、いいアドバイスをしてあげよう、ではないんです。その人の気持ちに寄り添って傾聴し、相手の気持ちを理解していくこと。それが、カウンセリングと思っている」。

名古屋でいのちの電話の開設準備に携わっていた時、マザーテレサと交流する機会を得た。マザーは記者から「あなたのやっていることは、ほんのささいなことではないか」と問われ、「大海も一滴の集まりです」答えた。そして「みなさんは、できることからはじめなさい」と話した。

阪神淡路大震災が起こった時には横須賀にいた。地域での支えあいが大事と考え、市の生涯学習コーディネーターの第１期生だった井出さんは仲間と共に、平成６年どんぐりの会を立ち上げた。以後、老人ホームでの活動が主軸となり、２２年になる。

「こころゆたかな老後をともに考える会」にも参加。そこで知り合った保護司に頼まれ、悩んだ末、保護司になった。そして２１年間、多くの難しいケースを担当。昨秋、その功績により藍綬褒章を受けた。

「面談に来た子どもたちがみんな、主人のことを好きになって、必ず主人に挨拶する。主人は『ご苦労さん、よく来たね。えらいね。今日暑かっただろ』とか、『うちのお母さんおにぎり作っていたから、食べてゆきなさい』と声をかけます」「主人は、私の仕事を理解してくれた。保護司の仕事は夫婦２人でやってきたようなものです。いい人に出会えて幸せと思っています」

井出さんは昨年、どんぐりの会の会長を退任。今年の３月、保護司も定年を迎える。「いい人生でしたよ。私は、歌舞伎の「入り舞」と言うのが好きなんです。舞台の引き際に、振り返ってもうひと舞する・・・人生のもうひと舞、人に寄り添うような、なにかがあれば、そんなのでいいかな」

ふわっとした空気に包まれた、そんなインタビューだった。　（はこざき）

三浦半島初 のたろんプロボノプロジェクト 成果報告会

三浦半島で初めて！「プロボノ」の成果報告会です。
2015年度の取り組み報告のほか、ゲストにNPO法人サービスグラント代表理事 嵯峨生馬さんを迎えプロボノの最新事情についてもお話しいただきます。
プロボノに興味をお持ちの方、お気軽にご参加ください。

日時：　2016年1月16日（土）14:00～16:00
場所：　横須賀市総合福祉会館５階第２研修室
定員：　先着40名
問合せ・申込み：
横須賀市立市民活動サポートセンター（ぬまさき）

のたろん Tag Cloud アンケート

サポセンを利用している人に聞きました。
横須賀で、友達に食べさせたいものってなに？

ヒデヨシ商店のおでん
相模屋の焼とり
一福のなべ焼きうどん
ハニービーのピザ
へらへら団子
ネイビーバーガー
さいかやまんじゅう
居酒屋信濃の料理
南蛮茶屋のポテトサンドとコーヒー
海軍カレー
自衛隊のカレー・軍艦カレー
七海製パンのパン
横須賀ベーカリーのシベリアロール
ベンガル
新鮮な魚
さるひめ（猿島わかめ）
スシロー
亜細亜楼のチャーハン
うらが「恵の里」のピザ
走水の焼きのり
マダコ
まぐろどん
シラス
海鮮丼
和菓子とお茶
おいし～い肉まん
美味しいコーヒーが飲みたい。。。
栗やさつまいものお菓子
生パスタで作ったペペロンチーニ
松坂屋のビーフジャーキー
寿司
天ぷら
おでん
ラーメン
そば
アンパン
カレー
ケバブ
オムライス
煮魚
お刺身
湯豆腐
おなべ
チーズケーキ
みたらし団子
キャベツ
本マグロの刺身
アメリカンバーガー
高級チョコレートケーキ
海軍カレーせんべえ
ホットケーキ
卵かけごはん
すき焼き
マンゴー
ポテトサラダ
うなぎ
カキフライ
ピザ
ステーキ
チキン
生ガキ

ところで、あなたが今一番　食べたいものは？

★チェック★　期間限定公開 アンケート結果の全回答　のたろんジャーナルからもご覧いただけます。

おひるね

自宅である築50年の木造家屋に大工さんがやってきた。1階の店舗スペースの床がポコポコしているのと階段がミシミシいうのと、雨戸がギシギシするのを直してくれるらしい。

大工さんの仕事は朝が早い。8時前に現状を確認して、棟梁が指示をだしながらあっという間に自宅一周にジャングルジムのような足場が組みあがった。聞けば大工さんは父と同い年であるとのこと。つまり71歳である。身軽に足場へ登っていく。運動神経を生まれつき持ち合わせていない私からすれば、びっくりすることのオンパレードだ。あんまり作業を見学していていては申し訳ないので自室にて待機していると、トントンと音が聞こえてきて心地よく、知らぬ間にウトウトしている間に、初日の作業は終わってしまっていた。

工事最終日は、古くなった物置の屋根を直す工程に入った。さりげなく作業を間近でみたい私と母は、あまり邪魔にならないように、物置の横で育てているジャガイモの収穫をすることにした。収穫しながらチラチラ見学ができるという計画だ。ドキドキしながら庭に出ると、物置の横にあるテーブルに小さな携帯ラジオが置いてある。もう何年も大工さんと一緒に、いろんな現場で仕事をしてきているのだろう。風格を感じるラジオだった。

その年季の入ったラジオからはジョンレノンのイマジンがかかっていた。イマジンを聞きながら母とジャガイモを掘り上げていく。時折大工さんを見ると、もくもくと屋根を直している。何故かはわからないけれど、もうこの瞬間は死ぬまで忘れない気がした。イマジンを聞くと思い出すと思う。お礼のしるしに、獲れたてのジャガイモを手渡した。渡す時につい手を凝視した。働く男の手だった。

（おおしまりえこ）

********** サポセンtopics トピックス

知っている？横須賀のボランティアポイント
市民公益活動ポイント券の使い方

ボランティアをしてもらえる 100 円分のポイント券、今年度から使えるお店が増えたこと、知ってますか？「ボランティアを広めよう」と始まった制度なのに、ボランティアをする人にとってあまりお得感がなくって、こんなんでボランティアが広まるんかいな～という声がちらほらありましたが、横須賀みやげのあんなもの、こんなものが買えたりします。引き続き、市の施設でも使えます。もちろん活動団体にも寄附できます。

ボランティアして、ゲット！

のたろんがお送りする「のたろんジャーナル」

◆サポセン発信情報（カメラ付き携帯で読み取れます）
◆E メール info@yokosuka-supportcenter.jp
◆サポートセンターのホームページ
「のたろん Web」は“のたろん”で検索♪

のたろんジャーナル

のたろん　検索

情報誌「のたろん」新春号（通巻 65 号）　2016 年 1 月 1 日
発行 横須賀市立市民活動サポートセンター
編集 指定管理者 特定非営利活動法人 YMC A コミュニティサポート
横須賀市本町 3-27（京浜急行汐入駅徒歩 1 分）
TEL ０４６－８２８－３１３０
FAX ０４６－８２８－３１３２
市民活動サポートセンターは、市民活動、ボランティア活動の打合せや作業、情報収集を行なう施設です。ご利用の際は受付にて利用票のご記入をお願いします。
編集ボランティア／はこざき・みずたに・おおしま　スタッフ／ぬまさき・のぎむら